

PLAYER

<劇団スタジオ・鏡>

稲 健二
鈴木 知香
青木 真理
村上 博紀
三木 温子
丘野 ユキ

<Guest>

スタート
川添 公二
グルポ・デ・マロ
山口 ゆか
D-JAM
的石 彩記子
劇団ひまわり
佐藤 俊作
茂 組
井上 茂
菱田 麻美

<弾き語り>

打越 元久
(15日のみ)

STAFF

舞台美術

丸田 道夫

照明

野田 幸夫

音響効果

松井 浩

Dance

D-JAM aki

衣装

MIKA

制作

原田みわこ

H.P 担当

マー坊

Special Thanks

スタート
グルポ・デ・マロ
劇団ひまわり
茂 組
お世話になった
たくさんの方々

芝居は嘘の世界である
嘘の世界がまみだす
人生のまじことは
実人生のまじことより
鋭く新鮮で
ほんもののび

贗作

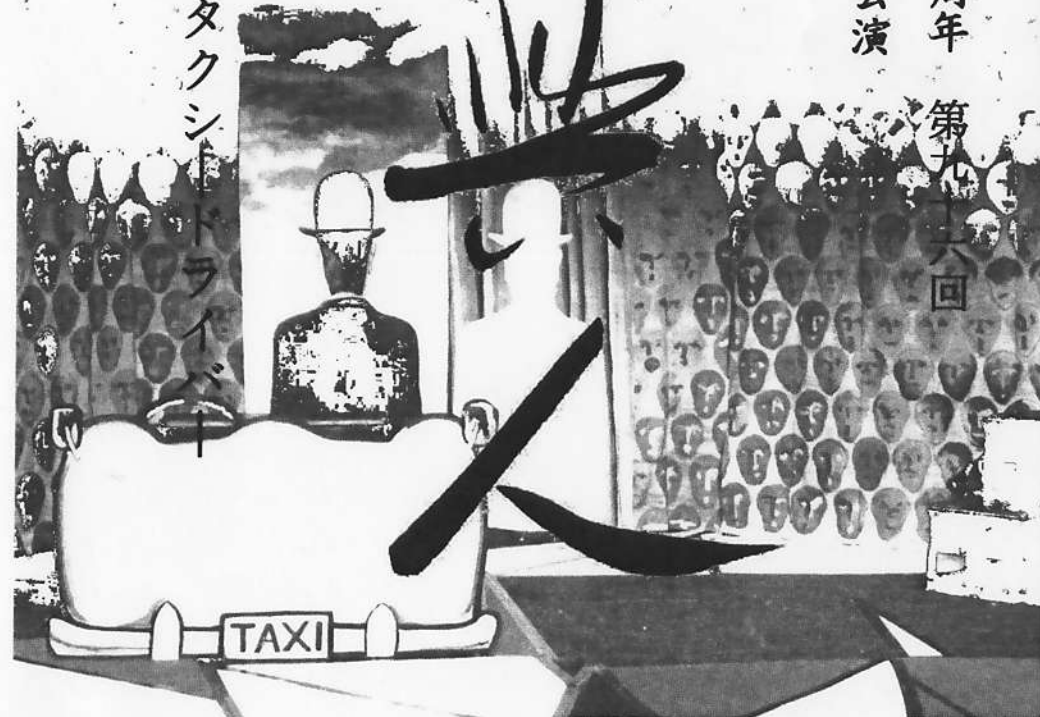
徳

田

興

人

贗作タクシードライバ



劇団スタジオ・鏡 二十五周年

第九十六回

徳田興人 追悼公演



1977年11月 原作「タクシー・ドライバー」初演 徳田興人

History

- 昭和10年 大阪、放出に9人兄弟の末っ子として生まれる
小学5年から野球を始め、中学、高校と野球に明け暮れる
- 昭和29年 私立四条畷学園より明治大学法学部に入学
- 昭和30年 劇団四季の「ひばり」を観て入団を決意
以後7年間劇団四季在籍
- 昭和37年 家庭の事情のため退団、帰阪
家業再建の一方で、俳優業もこなす
- 昭和49年 不況により役者廃業
タクシーに乗務
- 昭和51年 交通事故により瀕死の重傷
生活のため10日後から勤務再開
- 昭和52年 事故の後遺症再発、倒れる
劇団「男と女」旗揚げ
11月 処女作 原作「タクシー・ドライバー」初演
- 昭和57年 「演劇舎 徳田塾」創立
- 昭和61年 「劇団スタジオ・鏡」に改名
- 平成18年 12月18日 肝硬変のため死去

ごあいさつ

徳田さんは、私たちの“ドラえもん”でした。
25年間、その4次元ポケットからはたくさんの芝居を生み出し、楽しませてくれました。
役者を目指す若者にすべきことを教え、現場の厳しさを教え、
芝居はもちろんのこと、音楽、絵画、小説、はては政治経済まで、
あらゆる疑問・質問に答えてくれる頼りになる大先輩でした。
そしてまた即席の白菜や胡瓜の漬物、きんぴら、マーボ豆腐、カニ玉などの酒のアテを、
手早くつくって私たちに食べさせてくれる肝っ玉おっかあのような人でした。
自らを三文役者と称し、役者を育てることが大好きで、ついでに若い女の子も大好きで、
夢を見続ければいつかきつと叶う、念じれば実現すると言い続けた人でした。
“どらやき”ならぬ野球とお酒が好物で、センバツ高校野球の開会式に毎回涙し、
六甲おろしを唄い、お茶代わりに朝からビールやブランデーを飲む人でした。
最後に徳田ドラえもんのとおきの「ひみつの道具」をこっそり教えましょう。

1. 役者は精神的娼婦である
2. 役者はスポーツマンであり、詩人である
3. 役者は変身するものではない、自己という袋小路の中でさまよい、
のたうちまわり、新しい己と出会うものなのだ
4. 本物のプロフェッショナルは永遠の素人である すなわち初心を忘れない
人間のことである

遊び戯れる心 徳田興人

徳田興人の 原作「タクシー・ドライバー」をはじめとするいくつかの芝居が
みなさんの心に残ることを祈って……

2007年4月 原田みわこ

<http://www.geocities.jp/kagaminokagami/>